

（株）ヤマナカ（宮城県・石巻市）、うみの（株）（徳島県・海部郡）が共同で ベトナムでの付加価値の高いカキ養殖を支援 ～中小企業・SDGs ビジネス支援事業として JICA が採択・支援を決定～

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、株式会社ヤマナカ（代表取締役：高田慎司、本社所在地：宮城県石巻市）及びうみの株式会社（代表取締役：中村智治、本社所在地：徳島県海部郡）が提案する「ベトナム国における付加価値の高いカキ養殖に関する普及・実証・ビジネス化事業」（仮）を、企業が有する優れた技術や製品・アイデアを用いて、途上国が抱える課題解決および日本企業の海外展開を目指す「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の2023年度公示にて採択しました。今後は、株式会社ヤマナカ及びうみの株式会社と JICA 東北が連携し、ベトナムにおける同社の SDGs ビジネス展開に向けた普及・実証事業を行います。

なお、本事業には七十七銀行が調査団員として参画します。

◇ベトナム現地の課題

ベトナム政府は、農水産業に国際競争力を持たせ、主力産業の一つに発展させたいとの目標を掲げ、特に漁業の生産性向上に向けた人材育成や漁業関係者の生計向上を目指した取り組みを行っています。ヤマナカ社による先行調査によって、事業対象地のカインホア省では、養殖技術向上や種ガキの品質向上と安定供給、生産性の向上が特に課題であることが分かっています。



ベトナム・ニャチャンにおけるカキ養殖風景

◇現地の課題解決に向けた取り組み

ヤマナカ社及びうみの社は、ベトナムのカキ養殖の生産量を増やし、付加価値を高める（単価を上げる）ために、JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業を活用して、新たな技術を用いた種ガキの安定生産や、養殖技術の現地適合性を現地で実証します。今後の契約交渉を経て契約締結後、事業を開始します。

本件に関して、株式会社ヤマナカへのインタビューが可能ですので、是非取材をご検討ください。取材をご希望の場合は、JICA 東北 市民参加協力課 担当：増田・吉岡（TEL：022-223-4772、e-mail：thicjpp@jica.go.jp）までお問い合わせいただければ幸いです。

◇中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の2023年度公示では、全国で68件、東北地域では5件が採択されました。

【参考】

中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

2023年度公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/information/press/2023/1527096_25245.html



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当：増田・吉岡

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090

e-mail: thicjpp@jica.go.jp

～本ビジネスが達成に貢献するSDGs～

